

2010年11月

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 62 号』発行

「パパはイクメンですか？」

———100人のお母さんに聞きました———

森永乳業は、時代とともに変わりつつある母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番^{*}」への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

^{*}「エンゼル 110 番」は、「子育て奮闘中のママたちのために何かお役に立てることは…」と考え、1975年5月に開設した無料の育児相談窓口です。

最近、育児に積極的に参加する男性を‘イクメン’と呼び、世間の話題にのぼることが多くなっています。この言葉の始まりは、2006年、「‘イクメン’という言葉在世の中に普及させることで、父親の育児参加を促し、少子化の歯止めにもしていこう」とした、広告会社の父親が中心となって有志が立ち上げたプロジェクト『イクメンクラブ』だそうです。

エンゼル 110 番では1994年と2003年の2回にわたり、『夫の育児参加と妻の満足度』について調査を行っています。今回は妻から見た夫の‘イクメン’度をはかるとともに夫の育児参加について、過去との比較をまじえて考察しました。

【主なアンケート結果】

1. 妻から見た‘イクメンのパパ’は全体の約7割。
2. 夫の育児参加に対する妻の満足度は90年代からあまり変わっていない。
3. 父親の育児休暇は依然としてとりづらい。
4. ‘イクメン’を増やすには企業と社会全体の意識改革が必要と思われる。

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<お客さまからのお問い合わせ窓口>

妊娠・育児相談「森永乳業エンゼル 110 番」 TEL 東京 03-3405-0110、大阪 06-6365-0110
月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14時

エンゼル 110 番ホームページ<http://www.angel110.jp/>

今回のテーマ「パパはイクメンですか？」

— 100 人のママに聞きました —

自分の夫を‘イクメン’と評価する妻は約7割

「パパは‘イクメン’だと思いますか」の問いに対して、育児を「積極的にやる」「率先してやりたがる」「かなり協力的」「楽しんでしている」といった理由で、妻から‘とてもイクメン’と評価された夫は全体の約3割弱で、「努力している」「少しは頑張ってる」という理由で‘イクメン’と認められた夫を合わせると、約7割が‘イクメン’という結果でした。(図1)

そんな中、「‘イクメン’という言葉が本人が意識してやっている」という夫も2人いました。

反対に「仕事が忙しい」「仕事優先」でほとんど育児をしない、「頼まないとやらない」「がっかりした」というように妻から‘イクメン’と認められなかった夫は24人、「どちらとも言えない」は7人でした。

ただ、「少しは育児をやってくれるから‘イクメン’」という妻がいる一方で、「テレビで見る‘イクメン’には程遠いので違う」という妻もあり、それぞれの主観に左右されるため、‘イクメン’の水準にばらつきがありそうです。

過去2回の『夫の育児参加と妻の満足度』の調査に照らし合わせてみると、夫の育児参加について「とても満足」と「まあまあ満足」と答えた妻の割合が、今回の‘とてもイクメン’と‘まあまあイクメン’の割合にほぼ合致するものでした。(図2・3)

図1. パパは‘イクメン’ですか

(N=100人)

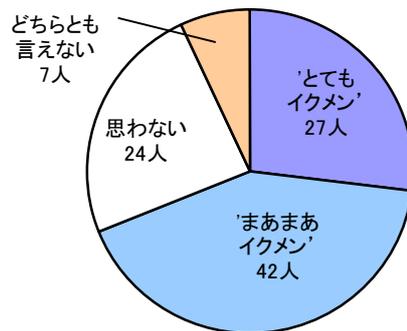


図2. パパの育児参加へのママの満足度 (2003年)

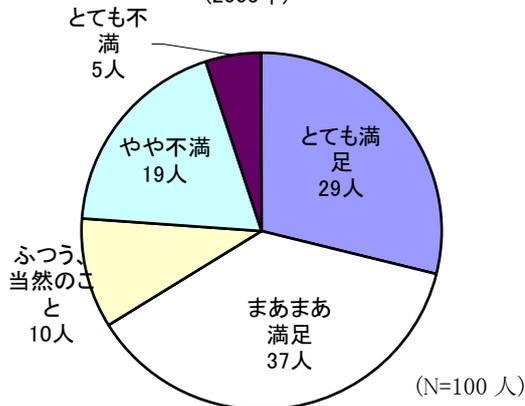
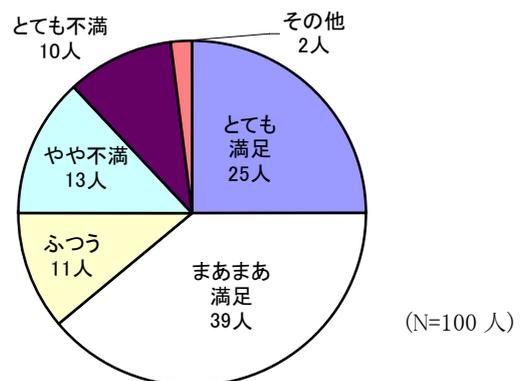


図3. パパの育児参加へのママの満足度 (1994年)



夫のよくやる育児は 90 年代とあまり変わっていない

「パパがよくやる育児は何ですか」の問いには、「お風呂に入れる」が最も多くて 75 人、その中でも夫の役割となっているのは 24 人でした。次に多いのは「抱っこ・遊ぶ・散歩」で 65 人、「オムツ交換」が 57 人でした。(図 4)1994 年と 2003 年の調査でも夫のよくやる育児のベスト 3 は今回の 3 項目と同じでした。(図 5・6)

「すべてやる」という夫が 1 人おり、「役割は決まっていないが、すべてママと半々でやっている」とのことでした。反対に「何もしない」は 2 人にとどまりました。前回、前々回の調査ではともに「何もしない」が 8 人だったので、育児をまったくしない夫は減ったようです。

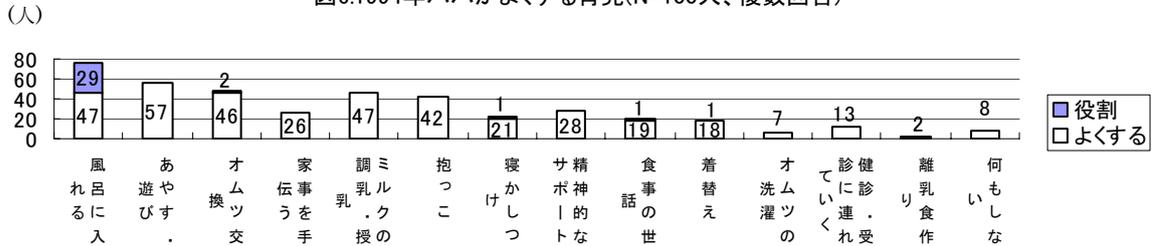
図4.2010年、パパがよくする育児(N=100人、複数回答)



図5.2003年、パパがよくする育児(N=100人、複数回答)



図6.1994年、パパがよくする育児(N=100人、複数回答)



*アンケート年度により回答項目の違いあり

なお「ミルクの調乳・授乳」は、1994年には47人、2002年には43人、今回は29人と減少傾向にあります。理由の一つには母乳育児の推進によって、妻の代わりにミルクを授乳する機会が減っているのかもしれませんが。

もっと手伝って欲しい、でも全面的に頼むにはまだ不安な面も…

「今後もっとパパに手伝ってほしい育児は何ですか」の問いについては、「現状で満足」が28人。まだ多くの妻は夫の育児に物足りなさを感じています。(図7)特に顕著な数字としてあがった項目はありませんが、全体的にもう少しいろいろ育児をして欲しいといったところでしょうか。「自主的にやってほしい」「頼まないでもやってほしい」「子どものことがわかってないので歯がゆい。言われなくても上手に相手をしてほしい」という希望がありました。そんな中、「二つのことを一度にできないから、何かに集中するとおそろかになって心配」「扱いがあらいのでもっと優しくやってほしい」など、育児に不慣れな夫に任せきりにはできない妻の不安もうかがえました。

図7.2010年 もっとパパにしてほしい育児(N=100人、複数回答)



また赤ちゃんと密着した育児環境から少し離れたい、夫にその間赤ちゃんをみてほしいといった希望も多くありました。「半日くらい預けて出かけた」「どれだけ大変かわかってもらう意味でも寝かしつけて一晩一緒に寝てほしい」「パパが子どもと実家に行って、ママ1人の時間をつくって欲しい」「ママの休日をつくって欲しい」などです。

父親の育児休暇取得率はまだまだ低い

「パパは育児休暇をとりましたか」の問いで、「とった」または「これからとる予定」と答えたのは3人とどまりました。数人で会社経営している1人が「せっかくだからとってみようと1カ月の育児休暇をとった」、あとは1人が「2週間とった」、もう1人が「これから3カ月とる予定」ということでした。全般的には「有給休暇もとれない」「誰もっていない」「とりづらい」「会社にその制度がない」「自営業なので無理」など、まだ父親が育児休暇をとるのが一般的になるまで時間がかかりそうです。

まとめ

現段階ではまだ、‘イクメン’の言葉に促され、「男性の育児に対する態度が変わってきた」と実感する妻はまだ少ないようです。

働く男性の育児参加や育児休業取得を促進させるために立ち上がったプロジェクト、厚生労働省の「イクメン・プロジェクト」や NPO 法人ファザーリング・ジャパンの「さんきゅーパパ プロジェクト」等、昨今の取り組みを考えると、夫の関わり方に多少変化があるのではと期待しましたが、今回の調査ではまだ大きな変化は見られないようです。

日本の男性の育児参加率は先進国の中でも最低水準といわれています。有給休暇も容易にとれない仕事環境では、やむをえない状況でしょうか。このままでは父親の今以上の育児参加は期待薄です。今年 6 月には改正育児・介護休業法が施行されましたが、この先は企業が社員の背中を押す必要があると思われます。父親本人はもとより、上司や同僚の意識改革も必要です。「父親が育休をとるのはあたりまえのこと、周囲の目も温かい」、そうした職場の体制を整備することが望まれます。

そして、父母双方が育児をしやすい労働環境が構築され、男性の育児参加に対する社会一般の理解向上がはかれることが期待されます。

調査の概要

- 対 象 : 「エンゼル 110 番」に電話をいただいた子育て中のママ 100 人
- 調 査 方 法 : 電話による聞き取り調査
- 調 査 期 間 : 平成 22 年 7 月 6 日～平成 22 年 8 月 28 日
- 対 象 者 の 属 性 : 「母親の年齢」20 代…25 人、30 代…71 人、40 代…4 人
「母親の職業」有職…24 人、無職…73 人、不明 3 人
「子どもの年齢」6 ヶ月未満…35 人、1 歳未満…41 人、1 歳代…17 人、
2 歳代…3 人、3 歳代…3 人、4 歳代…1 人、
「居住地」首都圏…50 人、首都圏外…45 人、不明…5 人

【HOT VOICE】*アンケートにお答えいただいたお一人お一人の声を集めました

《パパはイクメン》

- ・泣いていればあやし、夜はママを寝かすためにみていてくれる(1 ヶ月)
- ・夜 8 時～11 時の育児すべては夫が担当。その間、ママは夕飯の片付けや入浴をする(1 ヶ月)
- ・入院中から「オムツのあて方を教えて」と言われた。ママが疲れて先に寝てしまうと、パパが寝かしつけてくれていた(1 ヶ月)
- ・夜はママ、朝はパパ、というふうに時間帯で担当している(2 ヶ月)
- ・お風呂もミルクもパパが自分でやりたがる(8 ヶ月)
- ・休日は子どもとべったり。平日もできる限りよくやってくれる(1 歳 2 ヶ月)
- ・一日みてくれるときもあるので助かっている(1 歳 4 ヶ月)

《これから期待すること》

- ・仕事で疲れてよく寝るのはわかるが、もう少し子どもと遊んでほしい(3 ヶ月)
- ・泣いたらすぐにバウンザーにのせず、抱っこしてほしい(4 ヶ月)
- ・夜泣きもあるので、寝かしつけて一緒に寝てほしい(6 ヶ月)
- ・もう少しいろいろできるようになったらいい(8 ヶ月)
- ・平日早く帰ってきてお風呂にいらしてほしい(10 ヶ月)
- ・一日フルで育児をして欲しい(10 ヶ月)
- ・後片付けだけでなく、食事をつくってくると助かる(10 ヶ月)